

鶴岡市議会議員〔無会派・総務常任委員会〕

田中ひろし 市政報告

2011
JAN.



<連絡先> 事務所 〒 997-0036 山形県鶴岡市家中新町 13-35 メール：officefon@gmail.com
TEL 0235-22-0068 FAX 0235-22-0098
議会事務局 〒 997-8601 山形県鶴岡市馬場町 9-25 鶴岡市役所 2階
TEL 0235-25-2111 FAX 0235-24-9071



【子どもの笑顔あふれる鶴岡】を目指して

2011年、鶴岡市は穏やかなお正月を迎えました。「新・文化会館構想」「ユネスコ食文化都市への立候補」などが新たな動きを見せている一方、「加茂水族館改築」「庄内自然博物館整備」のように具体的なイメージが現れてきたプロジェクトもあります。

さて、行財政改革推進委員会や学校適正配置検討委員会の中間報告では、公共施設や補助金の見直し、学校の統廃合など、市民生活に大きな影響を与える内容に踏み込んでいます。

まちのカタチが少しずつ、しかし、大きく変わろうとしている今、市民お一人お一人が市政への関心を高めることが大切です。私もいろいろな方法で情報発信して、行政と市民の情報共有が進むよう努力いたします。

2011年が益々よい年に（よい都市に！）なりますよう、皆様のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。

- ◎行政と市民の情報共有、市政への市民参加を進めます
- ◎他の自治体を積極的に視察し、先進事例に学びます
- ◎鶴岡の情報発信に励み、全国に鶴岡ファンを増やします

鶴岡市議会議員 田中 宏

9月定例会・一般質問

去る2010年9月7日～29日に行われた鶴岡市議会9月定例会を振り返ります。なお、鶴岡市議会ホームページから、本会議の映像や会議録をご覧ください。

→ <http://www.city.tsuruoka.yamagata.jp/gikai/>

それぞれの地域がその地域内でのコミュニティの絆をしっかりと強めて、魅力ある個性を輝かせること。そして、地域間の交流を今よりも盛んにして、さまざまなコラボレーション＝「協働」に結びつけていくこと。東北一広い面積を持つ鶴岡市が、バラバラではなく一体感を持って発展していくために、この2点が不可欠です。

そこで9月定例会の一般質問では、地域活動の拠点である「コミュニティセンター」、鶴岡市の代表的な文化施設である致道館・大宝館・文化会館について取り上げました。

① コミュニティセンター（コミセン）について

鶴岡市内には多くの公共施設がありますが、鶴岡市民全員の共有財産として更に稼働率を高め、活性化しようとする努力が必要だと考えます。たとえば、旧鶴岡市の21地区に配置されたコミセン。平成20年度、約39万人が利用した地域づくりの拠点です。

コミセンの存在意義を高めるには、
(1) 若年層にも使いやすく！ 各地区の未来を担う若い世代の利用者を開拓
(2) 地域間の交流を！ 空き時間を、他地区からの利用にも積極的に公開
の2点の改善が必要です。

- ・施設情報をホームページなどで広く公開
 - ・空き状況確認や予約受付を電子化し、ケータイやパソコンからも予約可能に
- の2つを提案しました。

地区	施設名	延床面積	利用人数	利用時間
1	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
2	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
3	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
4	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
5	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
6	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
7	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
8	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
9	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
10	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
11	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
12	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
13	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
14	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
15	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
16	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
17	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
18	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
19	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
20	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00
21	中央	200.0㎡	1,000人	10:00～18:00



コミセンの施設情報（広さ／間取り／価格など）は、鶴岡市ホームページで公開されました。ぜひご参照ください。

→ <http://www.city.tsuruoka.lg.jp/020200/page4351.html>

一方、空き状況確認や予約受付を電子化することについては消極的な答弁でした。既に多くの自治体で導入事例があるので、当局には長所短所をしっかりと分析した上で判断してほしいものです。

鶴岡市内にはコミセンの他にも様々な「～センター」があります。それらの中にも、コミセン同様に活性化すべき施設が少なくありません。市民全員の共有財産として、有効活用していきましょう！

平成22年12月定例会議決の内容

平成22年12月2日～22日に行われた鶴岡市議会12月定例会にて議決された内容です。請願第7号への賛成討論を行いました。不採択となりました。

議案番号	件名	議決年月日	議決結果	議決番号
議第98号	平成22年度鶴岡市一般会計補正予算(第6号)	22・12・22	原案可決	第118号
議第99号	平成22年度鶴岡市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	"	"	第119号
議第100号	平成22年度鶴岡市病院事業会計補正予算(第1号)	"	"	第120号
議第101号	鶴岡市市税条例の一部改正について	"	"	第136号
議第102号	鶴岡市立羽原中学校改築工事請負契約の締結について	"	"	第121号
議第103号	鶴岡市立羽原中学校改築機械設備工事請負契約の締結について	"	"	第122号
議第104号	鶴岡市立羽原中学校改築電気設備工事請負契約の締結について	"	"	第123号
議第105号	鶴岡市過疎地域自立促進計画の策定について	"	"	第124号
議第106号	鶴岡市地域情報通信基盤整備事業光ブロードバンド施設整備に伴う調査設計業務及び整備工事請負契約の一部変更について	"	"	第125号
議第107号	鶴岡市消防手数料条例の一部改正について	"	"	第126号
議第108号	鶴岡市火災予防条例の一部改正について	"	"	第127号
議第109号	鶴岡市教育センター設置条例の制定について	"	"	第128号
議第110号	鶴岡市体育施設使用料条例の一部改正について	"	"	第129号
議第111号	指定管理者の指定について(鶴岡市立おおば学園)	"	"	第130号
議第112号	指定管理者の指定について(松原保育園)	"	"	第131号
議第113号	指定管理者の指定について(鶴岡市藤島児童館)	"	"	第135号
議第114号	損害賠償額の決定について	"	"	第132号

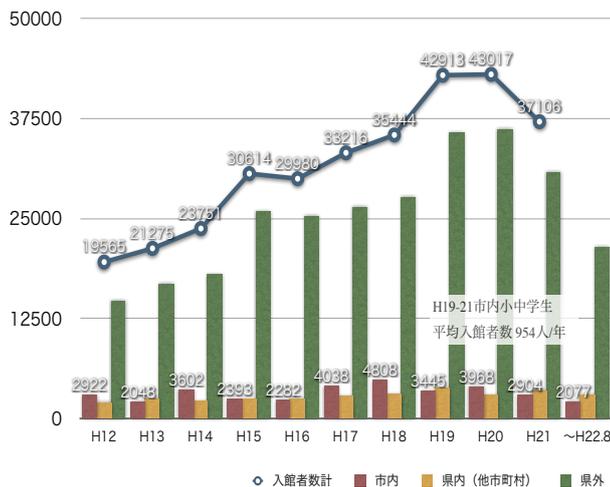
議案番号	件名	議決年月日	議決結果	議決番号
議第115号	鶴岡市都市公園条例の一部改正について	22・12・22	原案可決	第133号
議第116号	指定管理者の指定について(鶴岡市西郷地区農林活性化センター)	"	"	第134号
議第117号	平成22年度鶴岡市一般会計補正予算(第7号)	"	"	第138号
議第118号	財産の取得について	"	"	第139号
議会第12号	鶴岡市市税条例の一部改正について	22・12・22	否決	第137号
議会第13号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	"	原案可決	第111号
議会第14号	T P P 交渉参加反対に関する件についての意見書の提出について	"	"	第112号
議会第15号	地方経済の活性化策を求める意見書の提出について	"	"	第113号
議会第16号	社会資本整備予算の総額確保等を求める意見書の提出について	"	"	第114号
議会第17号	子ども手当財源の地方負担に反対する意見書の提出について	"	"	第115号
議会第18号	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書の提出について	"	"	第116号
議会第19号	「子ども・子育て新システム」を撤回し、子どもの健やかな育ちを保障する「保育制度」拡充を求める意見書の提出について	"	否決	第117号
請願第7号	所得税法第56条の廃止のための意見書提出を求める請願	22・12・21	不採択	
請願第9号	地方財政の充実・強化を求める意見書の採択に関する請願	"	採択	
請願第10号	T P P 交渉参加反対に関する件について意見書提出を求める請願	"	採択	
請願第11号	「環太平洋戦略的経済連携協定」(T P P) 参加反対に関する請願	"	みなし採択	

② 致道館と大宝館について

どちらも中心市街地に位置する「鶴岡の顔」とも言うべき施設ですが、最近、入ったことはありますか？というのも、利用者の中で鶴岡市民が占める割合はわずか8%だからです。

致道館は平成21年度、3万7千人ほどの利用者のうち、市内からは8%＝約3千人。1日たった10人ほどです。2010年9月、「世界的な学術文化都市」を目指すというシンポジウムまで開催した鶴岡市にとって、東北唯一の藩校建造物として国指定史跡になっている致道館は、庄内藩から連綿と続く「学び」のシンボル。生涯学習の一環として、市民がもっと親しみ、活用できる施設に改善していくべき、と質問しました。

【致道館】地域別・種類別入館者数推移



「致道館が持つ歴史性、文化性に沿った学習活動をされている団体」には使用を許可しており、「論語の素読教室など致道館教育の学習のほか、茶道、華道、短歌、俳句の活動や講演会など一般の人を対象とする各種学習の場としての活用例」があるとのこと。

ぜひ皆さんの知恵を集めて、致道館に新たな光を当てていきましょう！

一方、大宝館の利用者は平成21年度、2万5千人ほど。市内からは8%＝約2千人と寂しい限り。そのうち小中学生は433人と1日1人か2人。鶴岡ゆかりの先人の偉業を紹介している大宝館には、**大人だけでなく、地元の子ども達にこそ憧れをもって触れてほしいものです！**

大正4年、大宝館が建設された当時、1階は物産展示と図書館、2階は会議室と食堂として設計・利用されていたそうです。国指定の重要文化財である札幌の時計台や福岡市文学館を例に挙げ、より一歩市民に開放した形での活用を図っていく中で、文化財として大切に保護していくべき、と提言しました。

【大宝館】地域別・種類別入館者数推移



市内にも、松ヶ岡の蚕室や藤島の東田川文化記念館、鶴岡カトリック教会など、明治期に建築された文化財でありながら今でも生き生きと活用されている例があります。

ましてや、致道館と大宝館という最高の場所にある施設は、鶴岡の顔として魅力アップを図り、教育面でも観光面でも力を発揮してもらわなければなりません！

③ 文化会館について

約40年に渡って旧鶴岡市の文化を育んできた鶴岡市文化会館。しかしながら、響きの乏しいホール、狭くて座り心地が悪い客席、楽屋不足など、現代の基準に照らすと問題が多いのが実情。一流の芸術・芸能イベントの庄内公演は鶴岡を避けて、酒田「希望ホール」か余目「響ホール」に流れる傾向があります。それならば「新・文化会館」を！という声は、ずいぶん前から上がっていましたが、場所や経費など議論がまとまらず、現在に至っています。

文化会館ほどの規模の施設では、構想から設計・建設まで少なくとも5年間はかかるのが一般的。数十億円に上る事業費に財政負担が少ない「合併特例債」を利用するとすれば、タイムリミットは平成27年度なので、(→)

(→)平成 23 年度に動き出してもギリギリのタイミングです。
 そんな事情に、芸術文化協会をはじめとする市民有志の熱心な推進運動が加わり、「新・文化会館」がクローズアップされてきたわけです。9 月定例会に続いて 12 月定例会の一般質問でも取り上げましたし、その後の新聞報道なども併せて、現時点での方向をまとめておきます。

▽合併特例債期限の平成 27 年度までには、何らかの手法で文化会館を整備する
 ▽改修（リフォーム）か改築（新たに建設）かの基本方針は、市役所内の検討委員会で 22 年度内に決定する
 ▽23 年度から、市民各層から構成される整備検討委員会などを組織する

改修・改築いずれの方針になるにせよ、50 年後 100 年後を見据え、鶴岡市にふさわしい文化拠点のあり方を議論するチャンス。「市民の声を取り入れる」のでは不十分です。「市民と行政が共に作り上げていく」文化会館にしていくために、なるべく早い段階から市民が議論に参加できるよう、働き掛けていきます。

主な活動報告 ～ブログ記事より

《2009 年》

- ◆当選証書授与式。
- ◆早朝の魚市場に思う。
- ◆「すごいぞ！鶴岡の工場フェスタ」
- ◆防災服。 ◆静岡県伊東市との交流。
- ◆初議会。 ◆ネット de 市議会。
- ◆総務常任委員会協議会。 ◆鶴岡江戸屋敷。
- ◆ 12 月定例会。 ◆鶴岡市芸術祭。

《2010 年》

- ◆まんまルーム。 ◆総括質問。
- ◆予算委員会：平成 21 年度予算の 3 月補正。
- ◆予算特別委員会。 ◆総務常任委員会。
- ◆ 4 月臨時会。 ◆事業仕分け。
- ◆藤沢周平記念館視察。
- ◆マリカ東館、そして駅前空間の活性化。
- ◆市長説明。
- ◆総括質問から：創造都市ネットワーク
- ◆友好／姉妹／兄弟都市。
- ◆農商工観の連携強化。
- ◆北海道は暑いどー(@_@)
- ◆一般質問報告：公共施設の電子予約化
- ◆温海トンネル見学。
- ◆地方自治情報化推進フェア …ほか

ブログ ツイッター

BLOG / twitter での情報発信も！

▼市政報告会を開催していきます。一方通行ではなく、語り合う形で意見交換させて頂きたいと願っております。会合などにお呼び頂けると嬉しいです！お気軽にご一報ください。

▼広報紙での『田中ひろし市政報告』は、年 4 回程度発行していきます。

▼随時、ツイッターやブログでの情報発信も行なっております。

<http://tanaka-tsuruoka.net/>

http://twitter.com/tanaka_hiroshi



提言

大学生や留学生を鶴岡ファンに！

鶴岡には山形大学農学部や鶴岡高専、公益大大学院、慶應先端生命研など多くの高等教育機関があります。せっかく日本全国からの学生や世界各国からの留学生など、知性あふれる若者が集まっているのに、地域住民と交流したり、伝統文化に触れたりするチャンスに恵まれないまま鶴岡を離れてしまうケースも多いようです。なんともったいない！

鶴岡の子ども達との交流は、双方に良い影響を与えることでしょう。致道館での素読体験で、鶴岡の学術文化の「根っこ」である致道館精神を体感したり。まちづくりにも、若い感性とエネルギーを発揮して頂きたいものです。そうした交流を通して地域に友人知人が増え、鶴岡に愛着を持ち、未永く鶴岡ファン・応援団になってくれるとすればその意義は計り知れません！